

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成24年6月11日

愛知県知事 殿

提出者
住 所 愛知県蒲都市浜町15
氏 名 株式会社ウッドワン常務取締役
東海製造部蒲郡工場
工場長 竹田 平
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0533-69-5141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東海製造部 蒲郡工場
事業場の所在地	蒲都市浜町15
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	12 木材・木製品製造業
事業の規模	製品出荷高 610000 万円
従業員数	69名
特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	木材塗装施設： 製品塗装工程の洗浄によって生じる引火性廃油、洗浄時に発生する引火性廃油は、再生処理業者に委託して再生シンナー化又は、熱回収を行っている。再生処理業者で発生する残樹脂分及び燃え殻等は、埋立処分としている。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
(管理体制図) ISO統括(環境・品質)管理責任者 └── 全社環境管理委員会事務局 東海ブロック環境管理責任者 └── 蒲郡工場環境管理責任者 └── 蒲郡工場環境管理推進者 廃棄物管理責任者(特別管理産業廃棄物主任者)							
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
現状	【前年度(平成 23年度)実績】						
	<table border="1"> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の種類</td> <td>引火性廃油(廃シナー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>62.6 t</td> <td>t</td> </tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(廃シナー)		排出量	62.6 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(廃シナー)					
	排出量	62.6 t	t				
(これまでに実施した取組)							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃シナーの再生処理機でリサイクルを行う。 ・ 生産方式の見直し、色替え頻度を減少させ、塗装設備洗浄に用いる洗浄液の削減化。 							
計画	【目標】						
	<table border="1"> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の種類</td> <td>引火性廃油(廃シナー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>56 t</td> <td>t</td> </tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(廃シナー)		排出量	56 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(廃シナー)					
	排出量	56 t	t				
(今後実施する予定の取組)							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃シナーの更なるリサイクル及び、洗浄液の歩留まり向上のため少量で洗浄できる仕組み構築し、排出量を約20%削減する事を目標とする。 							
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項							
現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) -						
計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) -						

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） -		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） -		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） -		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） -		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） -		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） -		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（平成 23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	全処理委託量	62.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	t
	再生利用業者への処理委託量	62.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	t
	（これまでに実施した取組） 特別管理産業廃棄物の処理の委託業者の選定については、熱回収業者よりも、再生シンナー等として再利用化する事の出来る再生利用業者を選択して委託契約を追加した。		

計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	全処理委託量	56 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	56 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>特別管理産業廃棄物の処理の委託を、優良認定処理業者にも処理委託をするべく業者選定にむけての調査を開始する。</p> <p>現状処理委託をしている業者に対する定期の現地確認を1回以上/年実施の継続をする。</p>			
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 8 欄は記入しないこと。